

25分 Webシステム開発の基礎  
20分 各種機能の実装方法  
15分 サンプルプログラムの説明  
15分 演習・質問・相談

# 技術教育 (Web)

## 第2回：実装編

PHP・SQLの基礎と実戦的応用、  
サンプルの使い方、  
チームでの実装の進め方

# 目次

1. Webシステム開発の基礎
2. サンプルプログラムの説明
3. 各種機能の実装方法(サンプルを例にして)
  - a. 画像表示の実装
  - b. 絞り込み・一覧機能の実装
  - c. 詳細(確認)機能の実装
  - d. 登録・編集機能の実装
  - e. 削除機能の実装
  - f. マップ表示の実装

# Webシステム開発の基礎

- Webシステムの構成
- 画面と画面遷移
- PHPプログラミング基礎
  - 配列・連想配列
  - 画面遷移に伴うデータの受け渡し
  - コード化とコードの使い方

# Webシステムの構成

- **画面** (ユーザインターフェース)
  - 入力画面: データを入力する画面
  - 出力画面: 処理結果を表示する画面
- **処理**
  - 機能の実現に必要な処理を行う
  - 画面表示があるとは限らない
  - データベースと連携する場合が多い
- **制御** (画面遷移)
  - 操作の流れ (画面と画面、画面と処理の連結) を決める

# Webシステムの構成

要素	内容	言語
画面	静的画面 (いつアクセスしても変わらない)	<u>HTML</u> ファイル: <b>.html, .css</b>
	動的画面 (状況に応じて内容や表示形式が変わる)	<u>PHP</u> ファイル: <b>.php</b>
処理	動的画面を作るための <b>サーバ側の処理</b>	<u>SQL</u>
制御	入力データ、処理結果、業務の流れに応じて <b>画面遷移を決める</b>	PHP

# 画面の種類

- 入力画面

- ユーザの入力を受付する画面

- 文字列・日付・数値などの入力
    - 選択肢の入力
    - 操作ボタン

- 出力画面

- ユーザに情報を提示する画面

- 同じ種類のデータを複数出力(一覧画面)
    - 1件のみの詳細を表示(詳細画面)

## 複合画面

- 入力・出力の複合画面

- [検索条件入力]&[検索結果一覧]
  - [登録・編集]&[結果一覧]

- 一覧・詳細の複合画面

- [一覧]&[1件の詳細]

# 画面遷移の実現方法

- リンク

- リンクがクリックされると、画面が遷移する
- リンクをボタンの形とする場合もある

- 送信ボタン

- ボタンがクリックされると、送信と共に画面が切り替わる

- 自動転送

- ユーザの操作に伴わない画面遷移
- 処理の結果により、遷移先の画面が異なる

# 絶対URL vs. 相対URL

- 絶対URLとは

- 「http://」や「https://」などで、ホスト名からホスト上のファイルまでを完全に指定([index.html](#)や[index.php](#)など省略可)
- 例: <http://www.fukuoka-u.ac.jp/home/a/b/c.php>

- 相対URLとは

- 現在のディレクトリ位置を基準にファイルの位置を指定。現在のディレクトリ次第で指定されるアドレスが変わる。  
※Webアプリでは、原則「相対URL」を使用する
- 例: [localhost](#)上で現在ディレクトリ[/home](#)で 相対URL「[a/b/c.php](#)」を指定すると、「<http://localhost/home/a/b/c.php>」になる



# 画面遷移：遷移先の指定

- リンク

`<a href="URL">ここ</a>`をクリック

「ここ」をクリックすると、リンク先へ遷移。

利用例：一覧画面から「削除」、「詳細」、「編集」などの画面へ遷移。

- 送信ボタン

`<form action="URL" method="post">`

`<input type="submit" value="送信"></form>`

URLへ遷移しデータを送信し、処理結果により、遷移先画面を決める。

- 自動転送

- `header("Location:URL")`: 自動的にURLへ画面転送。

- 利用例1: ユーザ認証が成功すれば、トップ画面へ自動遷移

- 利用例2: 削除が成功すれば、一覧画面へ自動遷移(そこで結果確認)

# PHPプログラミング基礎

- ① PHPソースコードの埋め込み
- ② 文字列の表示
- ③ PHPの変数
- ④ 分岐と繰り返し
- ⑤ 配列・連想配列
- ⑥ 画面遷移に伴うデータの受け渡し
- ⑦ コード化

```
<?php  
    echo 'この文字列を表示';  
?>  
  
<?php echo 'この文字列を表示'; ?>  
  
<?= 'この文字列を表示' ?>
```

## ②文字列の表示

- echo文

```
<?php  
    $str = 'この文字列を表示';  
    echo $str;  
?>
```

- echo文の短縮形式

```
<?= 'この文字列を表示' ?>  
<?= $str ?>
```

### ③ PHPの変数

- PHP変数: \$で始まり、英数、\_で繋がる記号
- 通常変数: 小文字や\_のみを使う
  - 変数例: \$a, \$user\_id
- スーパーグローバル変数
  - \$\_GET, \$\_POST, \$\_SESSION

# 文字列と変数の組合せ

## (\$id=3とする)

- ダブルクォート文字列:
  - 変数を文字列の一部として埋め込む
  - 「”」を一文字として出力したい場合、「¥」でエスケープ
    - `echo "<img src=¥“photo_{$id}.jpg¥”>";`  
出力例: ``
- シングルクォート文字列:
  - 変数と文字列を「.」で結合。「”」はそのままが良い
    - `echo '';`  
出力例: ``

## ⑤. 配列・連想配列

- 配列
  - 複数の値をまとめて保持する仕組み。個々の要素は添字で特定
- 連想配列
  - 添字として任意の文字列が使える配列
- 多次元配列
  - 要素も配列である配列
- 配列の生成 `array()`

# 繰り返しによる配列処理(「曜日選択」)

[php]

```
$wdays = array("日", "月", "火", "水", "木", "金", "土");  
echo '<select name="wday">';  
foreach ($wdays as $k=>$day) {  
    echo '<option value="' . $k . '">' . $day . '</option>';  
}  
echo '</select>';
```



[html]

```
<SELECT name="wday">  
  <OPTION VALUE="0">日 </OPTION>  
  <OPTION VALUE="1">月 </OPTION>  
  <OPTION VALUE="2">火 </OPTION>  
  <OPTION VALUE="3">水 </OPTION>  
  <OPTION VALUE="4">木 </OPTION>  
  <OPTION VALUE="5">金 </OPTION>  
  <OPTION VALUE="6">土 </OPTION>  
</SELECT>
```

# 繰り返しによる配列処理(「研究室選択」)

[php]

```
$labs = array( //連想配列の初期化
    'nakata'=>"中田研",
    'miyazaki'=>"宮崎研",
    'suzuki'=>"鈴木研"
);
foreach ($labs as $k=>$lab) {
    echo '<input type="radio" name="lab" value="' . $k . '">' . $lab ;
}
```



[html]

```
<INPUT TYPE="radio" NAME="lab" VALUE="nakata">中田研
<INPUT TYPE="radio" NAME="lab" VALUE="miyazaki">宮崎研
<INPUT TYPE="radio" NAME="lab" VALUE="suzuki">鈴木研
```



## ⑥画面遷移に伴うデータの受け渡し

- URLに埋め込まれたデータ(\$\_GET)
- 入力画面から送信されたデータ(\$\_POST)
- 複数の画面で持ち回るデータ(\$\_SESSION)

# URLに埋め込まれたデータ (\$\_GET変数)

## 日報管理システムHRS

`<a href="spcomment.php?rid=4">承認</a>`

日付	チームID	ユーザID	承認状態	承認
2016-10-21	web1	k14jk220	×	<input type="button" value="承認"/>
2016-10-21	web1	k14jk225	×	<input type="button" value="承認"/>
2016-10-14	web1	k14jk220	10/16済み	<input type="button" value="承認"/>
2016-10-14	web1	k14jk223	×	<input type="button" value="承認"/>
2016-10-14	web1	k14jk225	×	<input type="button" value="承認"/>

[ログアウト](#)

1. リンクに？から始まる文字列  
(クエリ文字列)でデータ(例:  
**rid=4**)を埋め込んで送信

2. 送信先のプログラム(`spcomment.php`)で\$\_GET変数(配列)により、  
データを取得し、処理を続ける

```
$rid = $_GET['rid'];
```

# 画面より入力されたデータ (**\$\_POST変数**)

**日報承認**

k14jk225	山口進捗
所属	Web1班
日付	2016-10-21
報告	基本設計再レビュー
連絡	次回から技術教育
相談	疲れた
上司コメント	<div></div>
日付	2016-11-11

[ログアウト](#)

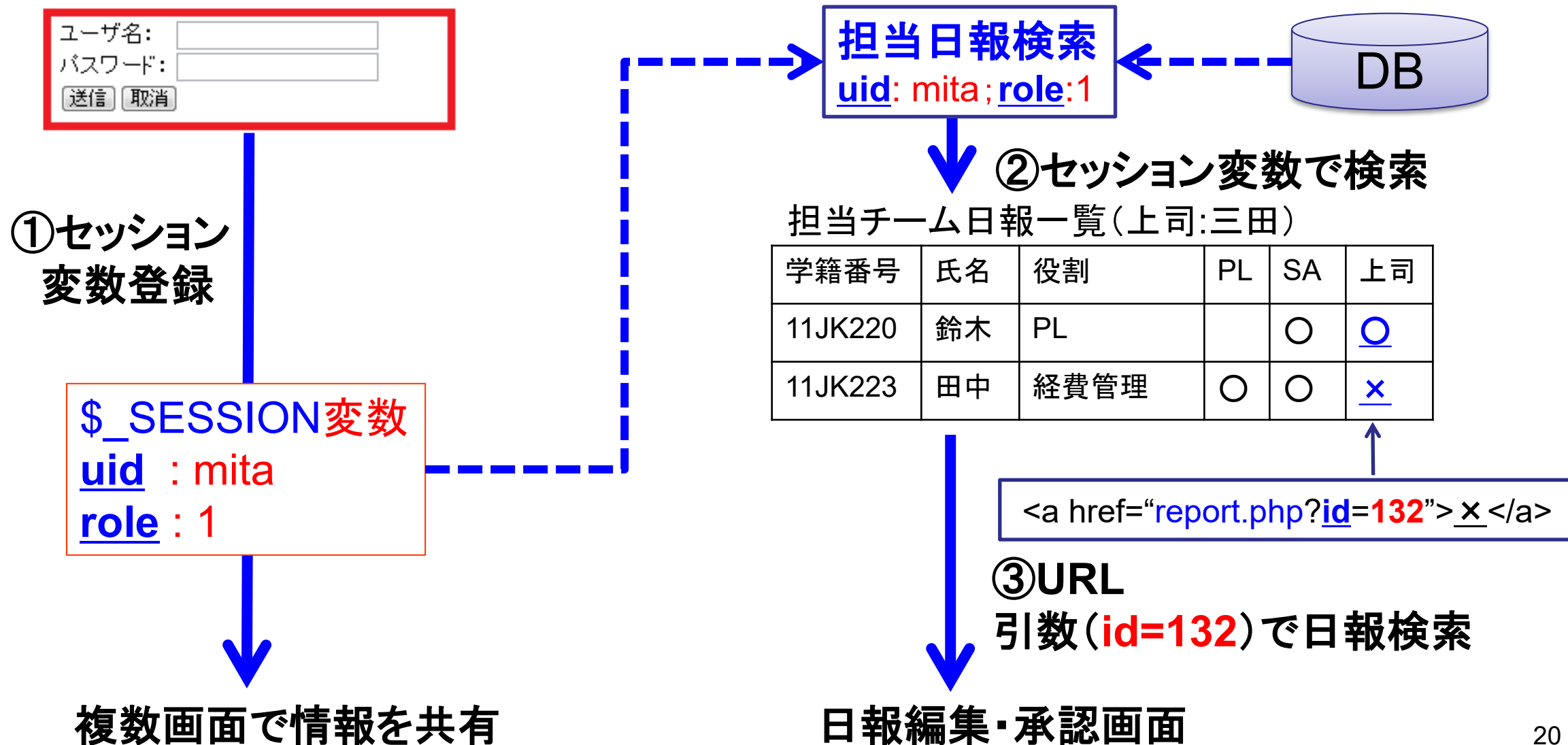
```
<textarea name="spcomment"
cols=45 rows=4></textarea>
```

1. 入力部品より名前付け  
で**name="spcomment"**  
送信

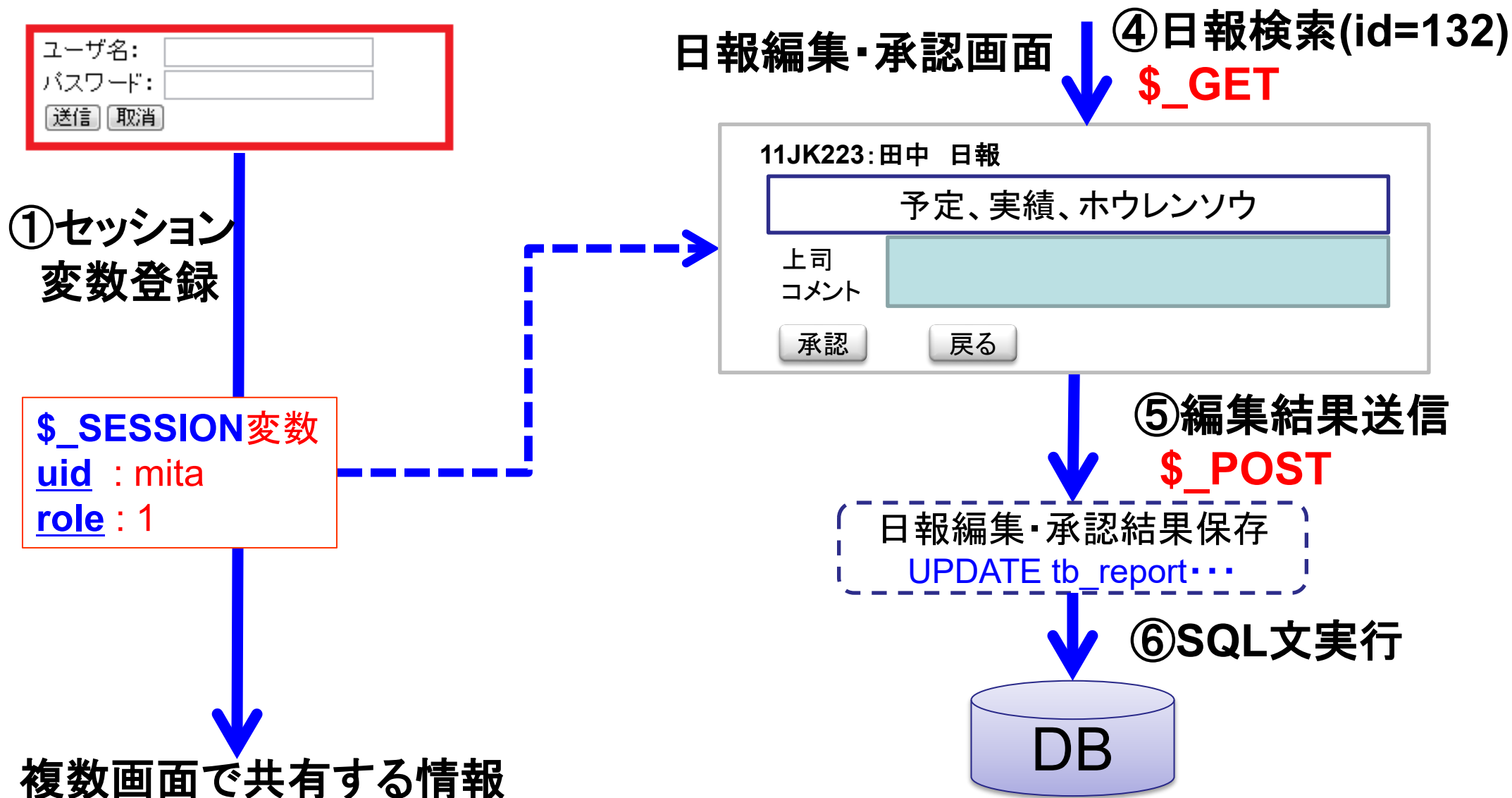
2. 送信先のプログラム(**spcomment.php**)で**\$\_POST**変数(配列)により、  
データを取得し、処理を続ける

```
$spcomment = $_POST['spcomment'];
```

# 画面間データの引渡し(1/2)



# 画面間データの引渡し(2/2)



# ⑦ コード化

- コード化とは
  - 一部の項目(フィールド)は、**本来の値**(文字列)を使わず、コード(番号)を振って表現すること
  - **例:** 学期: a: 前期, b: 後期, c: 通年  
性別: 1: 男, 2: 女
- コードの使用
  - 入力画面でコードを送信する
  - データベースにコードを保存する
  - 出力画面でコードから本来の値を求めて出力

# コードの定義: 配列

//通常配列

```
$wdays = array("日", "月", "火", "水", "木", "金", "土");
```

//同じ配列を連想配列で表す

```
$wdays1 = array(  
    0=>"日", 1=>"月", 2=>"火", 3=>"水", 4=>"木", 5=>"金", 6=>"土"  
);
```

//連想配列

```
$term = array(  
    1=>"前期", 2=>"後期", 3=>"通年"  
);
```

```
$sex = array(1=>"男", 2=>"女");
```

```
$role = array(  
    1=>"メンバー", 2=>"PL", 5=>"先輩", 6=>"上司", 7=>"顧客", 9=>"管理者",  
);
```

# コードの変換

```
$wdays = array("日", "月", "火", "水", "木", "金", "土");
```

```
//連想配列
```

```
$term = array(1=>"前期", 2=>"後期", 3=>"通年");
```

```
$sex = array(1=>"男", 2=>"女");
```

```
$i = 5;      //コード: 5
```

```
echo '曜日 : ' . $wdays[ $i ] ;
```

```
echo '<br>';
```

```
$i = 2;      //コード: 2
```

```
echo '学期 : ' . $term[ $i ] ;
```

```
echo '<br>';
```

```
$i = 2;      //コード: 2
```

```
echo '性別 : ' . $sex[ $i ] ;
```

```
echo '<br>';
```

```
曜日 : 金  
学期 : 後期  
性別 : 女
```



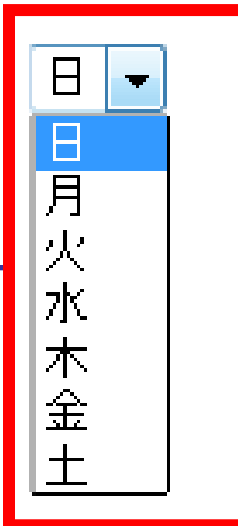
# コードの入力（選択）

- 配列からプルダウンリストを生成
- 配列からチェックボックスを生成
- 配列からラジオボタンを生成

# プルダウンリスト(新規画面・初期値無)

[input.php]

```
$wdays1 = array(
    0=>"日", 1=>"月", 2=>"火", 3=>"水", 4=>"木", 5=>"金", 6=>"土"
);
echo '<select name="wday">';
foreach ($wdays1 as $key => $value) {
    echo "<option value=$key>" . $value . "</option>";
}
echo '</select>';
```



[save.php]

```
$wday = $_POST['wday'];
```

# プルダウンリスト(編集画面・初期値有)

```
$wdays1 = array(  
    0=>"日", 1=>"月", 2=>"火", 3=>"水", 4=>"木", 5=>"金", 6=>"土"  
);  
$default = 4; //添え字4の曜日(木曜)を初期値とする  
echo '<select name="wday">';  
foreach ($wdays1 as $key => $value) {  
    if ($key==$default){  
        echo "<option value=$key selected>" . $value . "</option>";  
    }else{  
        echo "<option value=$key>" . $value . "</option>";  
    }  
}  
echo '</select>';
```

木 ▼

[save.php]

```
$wday = $_POST['wday'];
```

# チェックボックス（新規画面・初期値無）

[php]

```
$wdays = array(  
    0=>"日", 1=>"月", 2=>"火", 3=>"水", 4=>"木", 5=>"金", 6=>"土"  
);  
  
foreach ($wdays as $key => $value) {  
    echo '<input type="checkbox" name="wday[]" value=';  
    echo $key . ">" . $value . "</input>";  
}
```

☐日 ☐月 ☐火 ☐水 ☐木 ☐金 ☐土

[save.php]

```
$wday = $_POST['wday'];
```

# チェックボックス（編集画面・初期値有）

[php]

```
$wdays1 = array(
    0=>"日", 1=>"月", 2=>"火", 3=>"水", 4=>"木", 5=>"金", 6=>"土"
);
$checked = array(1,3);
foreach ($wdays1 as $key => $value) {
    echo '<input type="checkbox" name="wday[]" value=' . $key;
    if ( in_array($key, $checked) ){
        echo " checked>" . $value . "</input>";
    }else{
        echo ">" . $value . "</input>";
    }
}
```

[save.php]

```
$wday = $_POST['wday'];
```

☐ 日 ☒ 月 ☐ 火 ☒ 水 ☐ 木 ☐ 金 ☐ 土

# ラジオボタン(新規画面・初期値無)

[php]

```
$wdays1 = array(
    0=>"日", 1=>"月", 2=>"火", 3=>"水", 4=>"木", 5=>"金", 6=>"土"
);

foreach ($wdays1 as $key => $value) {
    echo '<input type="radio" name="wday" value=' . $key . ">" . $value;
}
```

☐ 日 ☐ 月 ☐ 火 ☐ 水 ☐ 木 ☐ 金 ☐ 土

[save.php]

```
$wday = $_POST['wday'];
```

# ラジオボタン(編集画面・初期値有)

[php]

```
$wdays1 = array(
    0=>"日", 1=>"月", 2=>"火", 3=>"水", 4=>"木", 5=>"金", 6=>"土"
);
$default = 4;
foreach ($wdays1 as $key => $value) {
    echo '<input type="radio" name="wday" value=' . $key;
    if ($key==$default){
        echo " checked>" . $value . "</input>";
    }else{
        echo ">" . $value . "</input>";
    }
}
```

☐ 日 ☐ 月 ☐ 火 ☐ 水 ☒ 木 ☐ 金 ☐ 土

[save.php]

```
$wday = $_POST['wday'];
```

# 画像表示

1. 画像ファイルのファイル名を決める  
データベースと連携しやすいように、ID等をファイル名の一部にする
2. 画像ファイルを、適切な場所に置く
3. <img>タグのsrc属性で表示する画像ファイルを指定  
データベースと連携して、正しい画像ファイルを読み込む

[php]

```
$img = "img/image_01.jpg"; //画像ファイル  
echo "<img src='{ $img }'>"; //<img>タグで画像表示
```



[php]

```
$img = "img/image_01.jpg"; //画像ファイル  
echo "<img src='{ $img }' height=120>"; //高さ指定して画像表示
```



# 演習1

- 以下の配列のもとで、学期を選ぶラジオボタン ([ex11.php](#))を作成せよ。初期値は2と指定。

```
$term = array(  
    1=>"前期", 2=>"後期", 3=>"通年"  
);
```

出力例

☐ 前期 ☒ 後期 ☐ 通年

# 演習2

- 入力画面([ex12a.php](#))で日付を入力すると、次の画面([ex12b.php](#))でその日付にあわせて曜日も出力せよ

```
$time = mktime(0, 0, 0, $month, $day, $year);  
$i = date('w', $time); //曜日の数字を返す  
$wdays = array("日", "月", "火", "水", "木", "金", "土");
```

[ex12a.php](#)

2013年 ▼

11月 ▼

9日 ▼

決定

[ex12b.php](#)

2013年11月9日(土)

# サンプルプログラムの説明

pbl2021

+ css/

+ docs/

+ img/

+ js/

+ **src/**

index.php

README.txt

pg\_header.php  
pg\_footer.php  
db\_inc.php  
pb\_home.php

1. 各機能のソースコードをsrcに集約
2. それぞれindex.phpを通して使用

http://localhost/pbl2021/?do=pb\_home

```
index.php
1  <?php
2  session_start();
3  include('src/pg_header.php');
4  $action = 'pb_home';
5  if (isset($_GET['do'])) {
6      $action = $_GET['do'];
7  }
8  include('src/' . $action . '.php');
9  include('src/pg_footer.php');
```

# 実装a. 画像表示の実装

- 画像表示のHTMLタグ
  - `<img src=“画像ファイルのURL” その他の属性>`
  - 画像ファイルのURLは以下のように指定可能
    - 相対URL: `<img src=“img/rst19_photo1.jpg” height=“120”>`
- 対象(例えば、店舗)によって表示画像が変わる方法
  - 対象の識別情報(例: 店舗ID)を使って画像ファイルを命名。例:
    - 店舗ID=19の画像ファイルをrst19\_photo1.jpg, rst19\_photo2.jpgにしておく
    - `<img src=“img/rst19_photo1.jpg” height=“120”>`  
`<img src=“img/rst19_photo2.jpg” height=“120”>`

# 画像表示例(一覧画面)

---

ダカラ社グルメシステム

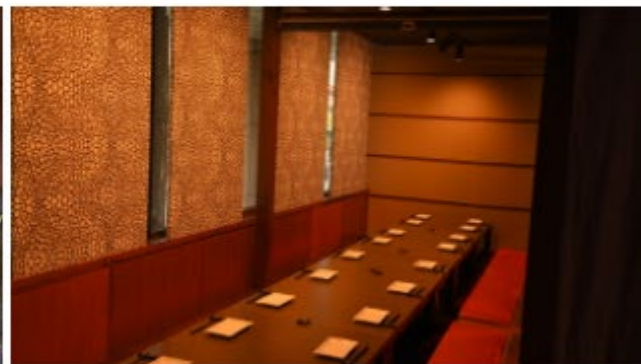
店舗一覧



店舗名：店舗1



店舗名：店舗2



店舗名：店舗3

# 実装b. 絞り込み・一覧機能の実装 (usr\_list.php, usr\_search.php)

アカウント一覧

キーワード:

☒ 全員 ☐ 会員 ☐ ゲスト ☐ 管理者

ユーザID	氏名	ユーザ種別	操作
u001	渡部 妃菜	会員	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
u002	安田 敬太	会員	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
u003	前田 稟	会員	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
u004	山本 明莉	会員	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
u005	斉藤 万葉	会員	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
u006	高野 歩	会員	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
u007	尾崎 沙織	会員	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
u008	菅原 直子	会員	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
u009	大島 ゆら	会員	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
u010	中西 陽花	会員	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
t001	ゲスト1	ゲスト	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
t002	ゲスト2	ゲスト	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
t003	ゲスト3	ゲスト	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
admin	管理者	管理者	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>

アカウント一覧

キーワード:

☐ 全員 ☒ 会員 ☐ ゲスト ☐ 管理者

ユーザID	氏名	ユーザ種別	操作
u001	渡部 妃菜	会員	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
u002	安田 敬太	会員	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
u003	前田 稟	会員	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
u004	山本 明莉	会員	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
u005	斉藤 万葉	会員	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
u006	高野 歩	会員	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
u007	尾崎 沙織	会員	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
u008	菅原 直子	会員	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
u009	大島 ゆら	会員	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
u010	中西 陽花	会員	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>

(種別で絞り込み)

アカウント一覧

キーワード:

☐ 全員 ☒ 会員 ☐ ゲスト ☐ 管理者

ユーザID	氏名	ユーザ種別	操作
u002	安田 敬太	会員	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
u003	前田 稟	会員	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>

(種別＋キーワード  
で絞り込み)

## c. 詳細(確認)機能の実装 (usr\_detail.php)

### アカウント一覧

キーワード:

☒ 全員 ☐ 会員 ☐ ゲスト ☐ 管理者

ユーザID	氏名	ユーザ種別	操作
u001	渡部 妃菜	会員	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
u002	安田 敬太	会員	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
u003	前田 稟	会員	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
u004	山本 明莉	会員	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
u005	斉藤 万葉	会員	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
u006	高野 歩	会員	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
u007	尾崎 沙織	会員	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
u008	菅原 直子	会員	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
u009	大島 ゆら	会員	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
u010	中西 陽花	会員	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
t001	ゲスト1	ゲスト	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
t002	ゲスト2	ゲスト	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
t003	ゲスト3	ゲスト	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
admin	管理者	管理者	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>

### アカウント詳細

ユーザID	u001
ユーザ名	渡部 妃菜
ユーザ種別	会員

# 実装d. 登録・編集機能の実装 (usr\_add.php)

新規登録の場合

**アカウント登録・編集**

ユーザID:

氏 名:

パスワード

(再入力)

ユーザ種別 ☒ 会員 ☐ ゲスト ☐ 管理者

http://localhost/pbl2021/  
?do=usr\_add

アカウントが更新されました

アカウント一覧

キーワード:

☒ 全員 ☐ 会員 ☐ ゲスト ☐ 管理者

ユーザID	氏名	ユーザ種別	操作
dora	ドラえもん	会員	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
u001	渡部 妃菜	会員	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
u002	安田 敬太	会員	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
u003	前田 稟	会員	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
u004	山本 明莉	会員	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
u005	斉藤 万葉	会員	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
u006	高野 歩	会員	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
u007	尾崎 沙織	会員	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
u008	菅原 直子	会員	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
u009	大島 ゆら	会員	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
u010	中西 陽花	会員	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
t001	ゲスト1	ゲスト	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
t002	ゲスト2	ゲスト	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
t003	ゲスト3	ゲスト	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
admin	管理者	管理者	<a href="#">詳細</a> <a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>

編集の場合

**アカウント登録・編集**

ユーザID:

氏 名:

パスワード

(再入力)

ユーザ種別 ☒ 学生 ☐ 教員 ☐ 管理者

http://localhost/pbl2021/  
?do=usr\_add&uid=u003



# 実装e. 削除機能の実装 (usr\_delete.php)

アカウント一覧

キーワード:

☒ 全員 ☐ 会員 ☐ ゲスト ☐ 管理者

ユーザID	氏名	ユーザ種別	操作		
dora	ドラえもん	会員	<a href="#">詳細</a>	<a href="#">編集</a>	<a href="#">削除</a>
u001	渡部 妃菜	会員	<a href="#">詳細</a>	<a href="#">編集</a>	<a href="#">削除</a>
u002	安田 敬太	会員	<a href="#">詳細</a>	<a href="#">編集</a>	<a href="#">削除</a>
u003	前田 稟	会員	<a href="#">詳細</a>	<a href="#">編集</a>	<a href="#">削除</a>
u004	山本 明莉	会員	<a href="#">詳細</a>	<a href="#">編集</a>	<a href="#">削除</a>
u005	斉藤 万葉	会員	<a href="#">詳細</a>	<a href="#">編集</a>	<a href="#">削除</a>
u006	高野 歩	会員	<a href="#">詳細</a>	<a href="#">編集</a>	<a href="#">削除</a>
u007	尾崎 沙織	会員	<a href="#">詳細</a>	<a href="#">編集</a>	<a href="#">削除</a>
u008	菅原 直子	会員	<a href="#">詳細</a>	<a href="#">編集</a>	<a href="#">削除</a>
u009	大島 ゆら	会員	<a href="#">詳細</a>	<a href="#">編集</a>	<a href="#">削除</a>
u010	中西 陽花	会員	<a href="#">詳細</a>	<a href="#">編集</a>	<a href="#">削除</a>
t001	ゲスト1	ゲスト	<a href="#">詳細</a>	<a href="#">編集</a>	<a href="#">削除</a>
t002	ゲスト2	ゲスト	<a href="#">詳細</a>	<a href="#">編集</a>	<a href="#">削除</a>
t003	ゲスト3	ゲスト	<a href="#">詳細</a>	<a href="#">編集</a>	<a href="#">削除</a>
admin	管理者	管理者	<a href="#">詳細</a>	<a href="#">編集</a>	<a href="#">削除</a>

doraを本当に削除しますか?

[削除](#) | [戻る](#)

アカウント一覧

キーワード:

☒ 全員 ☐ 会員 ☐ ゲスト ☐ 管理者

ユーザID	氏名	ユーザ種別	操作		
u001	渡部 妃菜	会員	<a href="#">詳細</a>	<a href="#">編集</a>	<a href="#">削除</a>
u002	安田 敬太	会員	<a href="#">詳細</a>	<a href="#">編集</a>	<a href="#">削除</a>
u003	前田 稟	会員	<a href="#">詳細</a>	<a href="#">編集</a>	<a href="#">削除</a>
u004	山本 明莉	会員	<a href="#">詳細</a>	<a href="#">編集</a>	<a href="#">削除</a>
u005	斉藤 万葉	会員	<a href="#">詳細</a>	<a href="#">編集</a>	<a href="#">削除</a>
u006	高野 歩	会員	<a href="#">詳細</a>	<a href="#">編集</a>	<a href="#">削除</a>
u007	尾崎 沙織	会員	<a href="#">詳細</a>	<a href="#">編集</a>	<a href="#">削除</a>
u008	菅原 直子	会員	<a href="#">詳細</a>	<a href="#">編集</a>	<a href="#">削除</a>
u009	大島 ゆら	会員	<a href="#">詳細</a>	<a href="#">編集</a>	<a href="#">削除</a>
u010	中西 陽花	会員	<a href="#">詳細</a>	<a href="#">編集</a>	<a href="#">削除</a>
t001	ゲスト1	ゲスト	<a href="#">詳細</a>	<a href="#">編集</a>	<a href="#">削除</a>
t002	ゲスト2	ゲスト	<a href="#">詳細</a>	<a href="#">編集</a>	<a href="#">削除</a>
t003	ゲスト3	ゲスト	<a href="#">詳細</a>	<a href="#">編集</a>	<a href="#">削除</a>
admin	管理者	管理者	<a href="#">詳細</a>	<a href="#">編集</a>	<a href="#">削除</a>



# 実装f. マップ表示の実装

店舗名：

居酒屋 ひなた

店舗詳細：

福岡市にある【ひなた】は路地裏にある隠れ家的居酒屋。一歩中に入ると、活気にあふれたスタッフの声が響く。

店舗住所：

福岡県福岡市中央区今泉2丁目3-31 プロペリスタ今泉Ⅱ 1階



# マップ表示の実装(<iframe>タグ)

文書の中にインラインのフレームを作成するためのタグ

<iframe

width=“フレームの幅”

height =“フレームの高さ”

frameborder =“枠線の有無”

scrolling =“スクロールバーの有無”

src =“フレーム内に表示する文書のURL”>

```
<iframe width="100%" height="500pt" frameborder="0" scrolling="no"
src="https://maps.google.com/maps?output=embed&hl=ja&q=産大前駅"></iframe>
```

f	[左枠] q:通常(デフォルト), d:乗換案内	f=q
q	[検索文字列]:住所、ランドマーク名、 緯度経度(緯度経度の間に「,」)	q=原宿駅 q=35.670821,139.702726
z	[縮尺]: 0~23	z=18
ll	[中心点]: 緯度経度の間に「,」	ll=35.670821,139.702726
t	[表示モード] m...地図, k...航空写真 h...地図+航空写真, e...Google Earth	t=m
hl	[言語]: ja...日本語, us...英語	hl=ja
output	embed(この引数があるとmapのみを枠に埋め込む)	output=embed [必須]

# チームプログラミングの作法

- チーム 共通のコーディング規則 を決める
  - 良い名前をつける。フォルダ名、ファイル名、変数名、関数名、テーブル名、列名、name属性名等の付け方を 命名規則 で統一
    - 同じ項目の 列名 (DB)、name 属性名 (HTML)、変数名 (PHP) を統一
  - 適切なコメントを書く・意味のある単位にコードを分割・改行、インデントキレいに整形
- チーム 共通のデータベースを使用 して開発
  - テーブル定義 だけではなく、初期データ(5行～) も統一
  - 初期データは意味やフォーマットが正しいものとする

# コーディング規則

- 変数名、列名、name属性名を統一
  - ✓ \_, 小文字, 数字のみ、わかりやすい英語名
  - ✓ 例: \$sname(変数名)、sname(列名)  
<input type="text" name="sname">(属性名)
- フォルダ名、ファイル名
  - ✓ フォルダ名: 小文字4文字以内
  - ✓ ファイル名: \_, 小文字のみ、わかりやすい英語名
- テーブル名、列名
  - ✓ 10文字以内のわかりやすい英語名